

鶴田町で県学校保健研究大会

10月24日（金）、水元中央小学校・豊明館・国際交流会館を会場に、青森県教育委員会主催「平成20年度青森県保健・学校教育・学校給食研究大会」が開催され、県内各地より300人の先生方が参加されました。

午前9時30分からは、水元中央小学校（下山新市校長）で「公開授業」が行われ、4月から総合的な学習の時間で取り組んできた課題を、各学年ごとに元気よく発表を行っていました。

また、午後からの記念講演では、シンガーソングライターの さとう宗幸 さんの講演が行われ、ヒットソング「青葉城恋唄」の歌を披露しながら、ユーモアたっぷりのトークで人生経験を語り、参加者にとって意義深い記念講演となりました。



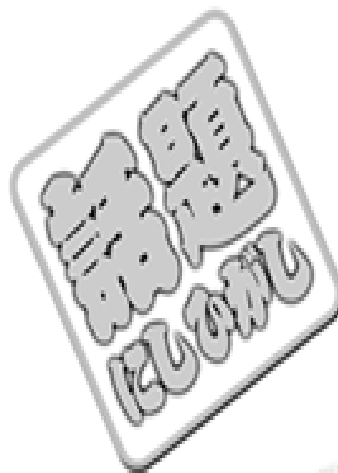
△楽しい講演とともに、歌を披露するさとう宗幸さん。



△10/15JAなつみの皆さんが来町

10/26派立子ども会「廃品回収」

10/26鶴の舞橋開通記念短歌大会



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせ
してください。（☎22-2111 内線263）

アメリカの友達がたくさんできた！

10月22日（水）、胡桃館小学校（今 信夫校長）の3年生と4年生27人が、ソラーズ小学校（三沢市米軍基地内）5年生50人と交流会を行いました。

以前、胡桃館小学校とソラーズ小学校は三沢市で交流会を行っており、今回の開催で交流会は2回目となりました。ソラーズ小学校の子どもたちが胡桃館小学校に到着すると、まずグループに分かれて自己紹介をおこないそれぞれの緊張をほぐしました。次は日米混合チームで、交流ゲーム（玉入れ、綱引き、しっぽ取り）を楽しみ、ランチタイムは自由交流ということで、自分の知っている英語と体をフルに使って交流と友情を深めていました。帰る頃には、以前よりたくさんのアメリカの友達ができたようです。



△いっしょになってゲームを楽しむソーランズと胡桃館の児童たち

亀田地区で収穫感謝祭を開催

11月9日（日）、亀田新田子ふれあいセンターで、亀田幸せの種まき運動（坂本 豊会長）主催の「秋の収穫感謝祭」が、地区の高齢者や子どもたちを集め盛大に開催されました。

当日は、亀田地区のJA女性部、男の料理研究会、亀田子ども会の皆さんが協力して、今年同地区で穫れたもち米を使って「餅つき大会」や「大ビンゴ大会」が行われ、夕方からは、JA女性部の方が作ったごちそうや、男の料理研究会の方々が作ったおつまみで懇親会が開かれ、秋の収穫の喜びを分かち合いました。

餅つき大会では、子どもたちが初めて餅つきに挑戦！杵が重くてなかなかうまくつけませんでしたが、お父さんに手伝ってもらいおいしいお餅がつき上がりました。



△お父さんとつくお餅はきっとおいしいね。



△「大きく育ってね！」と願いを込めて放流された

ヘラブナがたくさんすむ湖に

10月26日（日）、津軽富士見湖で、鶴田町観光協会（中野●司会長）が主催する「ヘラブナの放流」が、梅沢小学校（芦田由紀子校長）5年生と6年生16人によって行われました。

今回放流されたヘラブナは、体長10cm程の大きさの成魚で1,500匹、540kg。津軽富士見湖は、昨年秋に発生した魚の大量死の影響で、春に行われたヘラブナ釣り大会



では、ほとんど釣果が上がらず、数が大きく減っています。

この放流で、来年はたくさんヘラブナがすむ湖となるよう、また釣れますよう祈りを込め大切に放流しました。

△今回放流されたヘラブナ

努力に勝るものはありません

11月4日（火）、鶴田高等学校（森川敏行校長）と鶴田中学校（稲場締男校長）で、米国ルイス・アンド・クラーク大学名誉教授 木立随学（こだち・ずいがく）しを招いての講演会が開催されました。

講演会の中で先生は、「若いときは、本当に苦勞の連続でした。しかし、努力した結果、今のわたしがいます。皆さんも何事にも負けず努力してください」と話され、生徒諸君に熱いエールを送っていました。

木立先生は、板柳町のご出身で、立正大学卒業後、日蓮宗開教師として23歳の若さで単身渡米し、ルイス・アンド・クラーク大学で長年、日本語教育に尽力されました。平成8年に同校を退職された後、名誉教授の称号を授与され、また、今年4月29日には旭日双光章を受章されました。



△若い頃、苦勞した話をされる木立先生（鶴田中学校にて）